

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	平成27年度「響つないで」長野市民フェスティバル 長野市芸術館 開館 プレイベント 「響つないで」カウントダウンフェスティバル
事業主体 (連絡先)	NPO 法人響つないで長野市民フェスティバル (電話 090-3100-6151)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,691,877円 (うち支援金: 1,702,000円)



事業内容

本事業は、総合文化祭の開催を通じて市民の手で市民の文化芸術を盛んにし、長野市の新たなまちの活性化に寄与するものである。

今回は、長野市芸術館の新装開館(平成28年5月)を市民の文化芸術の歴史の節目と考え、以下の2つの事業を県内で広域開催し、長野市芸術館の開館までをカウントダウンしながら広報活動を行う。

- ① 「目指せ!小ホール、舞台発表者」
ピン、ソロ芸人、小ユニットの舞台発表の活性化
- ② ながのよしもとふるさと劇団公演
市民劇団を結成し、長野をテーマとするオリジナル作品の上演



【ながのよしもとふるさと劇団公演】

【目標・ねらい】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① これまでの事業では5名以上、最大では300名を超える出演による舞台運営を中心として企画したが、少人数の舞台発表の機会を大幅に増やすことができた。述べ180人のソロ芸が実現。
- ② 学校・企業で「プレゼンテーション力」が求められる時代において、市民が気軽に舞台発表に挑戦できる機会として好評であり、今後長期・定期的に開催する見通しである。
- ③ 中長期の活動計画を通じて、5歳から70代までの劇団運営、舞台発表を通じて、世代間交流が実現した。
- ④ 市民の文化芸術活動と芸術館双方へ関心を高めていただくことができた。

- ① 市民の文化芸術発表の場の拡大
- ② 市民の様々な表現の機会拡大
- ③ 文化芸術を通じた市民交流
- ④ 市民参加による長野市芸術館開館PR

※自己評価【 B 】

【理由】
長野市以外での事業開催にあたり、広報力(特に集客)が不足していた。

今後の取り組み

今回、文化芸術を通じた市民の「表現の場」「プレゼンテーション力の向上」をキーワードとし、少人数で表現する舞台発表と市民演劇を開催することで、活動の大小に関わらず、市民のニーズを掘り起こすことが出来た。特に、部活動や文化サークルは、経済的事情により、大規模施設における発表の機会が減少傾向にあることを背景とし、「いつでも・誰でも」参加しやすいよう、定期開催が期待されており、本年度の事業の成功と反省を限りなく活かし、継続していく予定。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある